

名前: Sorn chanlina

クラス: JPE2.2

二番目の両親は

皆様、こんにちは!

私の名前はリナーと申します。今年23歳です。大学で日本語を勉強しています。今二番目の両親のことについてお話をしたいです。二番目の両親は先生です。先生と言う意味か先生と言う存在か分かっていますか? なぜ5歳になって必ず学校へ通っていますか? なぜ先生がいますか?

どこの国でも、子供が生まれて、5歳になったら学校に連れて行きます。私の子供のごろも学校に行かせます。一日に10時間ぐらい先生といました。そのころ私は先生と一緒に学習しに行ったりうちへ帰ったりして毎日、こうやっていました。しかし私は先生の意味が深くまで理解できませんでした。

私は20歳になって、日本語を教える仕事をして、この時に先生と言う意味が理解できるようになりました。自分の学生は分からないと言われたときに、とても大変でした。学生に分かりやすいように色々な方法を考えて、教えました。皆さんは静かで全然話さない時もとても心配です。皆はどうしたんですか。何をあつたのか、勉強の気持ちがないことだし将来はどうなりますかとかがえしました。先生はいくら大変さの仕事が理解できました。私は自分でそんなことであってすぐ学生の時代のことを思い出しました。幼稚園の先生と高校生の先生と大学の先生がやってくれたことは今の私もやっています。

先生が私たちに どんないいことか、悪いことか、いつも注意してくれました。先生は 学生の将来のことを考えたり、心配したり、応援したりすることは、自分の子供のようにです。だから 学生の考えのほうにも 先生は 自分の両親のようにです。

人生は 勉強に 本当に 重要です。もしも読み書きができないと人生が 困ります。小さいときからいままでできる教育は 先生のおかげです。もし 先生が いなかったら 何もわからず 何もできません。すべての先生は 人生の問題の乗り越え方も 教えてくれます。そして 別の人には 私が思う通り、先生に 尊敬をしたり してほしいです。